

はじめに

公立前期選抜がだんだん近づいてきました。中3生にとっては、これからまさに『正念場』です。

前期選抜は、多くの高校で高倍率の入試になります。しかし、みなさんの夢を実現するための大切な1回目のチャンスでもあるのです！ あきらめずに最後まで『自分が目指す学校』にこだわって欲しいと思います。

『自己PR書』も『面接』も今からしっかり準備をして、自信を持って前期選抜にのぞんでください。

《前期選抜って何だっけ？》

みなさんをご存知の通り、神奈川県公立高校入試は新しい制度に変わり始め、2004年春からすべての公立高校で「前期選抜」が実施されています。「前期選抜」は学力検査を行わない入試で、その「前期選抜」を受ける全員に、面接のための参考資料になる「自己PR書」の提出と面接試験が課されます。学校によっては面接のほか、必要に応じて実技検査・自己表現活動・作文を実施します。また、合否は事前に公表される各校独自の「選考基準」にしたがって決定されます。調査書の評定(内申点)、部活動・生徒会活動・検定資格取得などの調査書記載事項が選抜資料になるほか、「自己PR書」のすべての欄をみなさんが自分自身で記入し、それをもとに、面接で自分のよさをアピールしていく形になっています。また、必要に応じて実技検査・自己表現活動・作文が実施される高校もあります。このように、面接試験の結果だけで合否が決まるわけではありません。しかし、他の資料とは違い、面接(学校によっては、実技検査・自己表現活動・作文)だけは、試験日当日までの準備次第で成功にも失敗にもつながると言えます。

そこで、この「前期選抜対策」では、選抜資料提出書類のうち特に前期選抜試験当日までに準備ができ、特に多くの受験生にとって必要な、自己PR書、面接、作文、自己表現活動に焦点をしぼり、対策を立てていきます。この本をしっかり活用し、前期選抜にのぞんでください。

もちろん、国立・私立高校を目指す場合も、面接・作文の基本は同じです。推薦・併願などにかかわらず多くの学校で面接・作文が行われています。その対策もこの1冊でばっちりです。

神奈川県公立高校入試の前期選抜対策

自己PR書・面接・作文・自己表現活動
国立・私立高校の面接にも対応

もくじ

はじめに 1

■神奈川県公立高校 前期選抜 にのぞむ 3

1 自己PR書編 4

こうすればできる! 自己PR書 (1)自己PR書とは (2)自己PR書のポイント (3)自己PR書を書くうえでの注意点 ★実際に原稿を作成しよう①~②

2 面接攻略編 11

面接対策,この5つをやっておこう ★面接試験とは (1)面接試験って何だろう (2)前期選抜での面接の意味 (3)面接試験で大切なこと (4)面接ではどこを見られるの? (5)応答上の注意 (6)試験当日の心得 ★面接4本柱の作成

面接ワークシート

志望理由から自己PRまで、各学校の面接で聞かれる代表的な質問をリストアップ。ワークシート形式になっているので、実際に書いて自分の答えをまとめてみよう。

3 作文編 28

☆「作文」による検査とはどんなものか ☆「作文」ではイエス・ノーを明らかにしよう!
☆どんなテーマでも「型」を守って書こう! ☆テーマを決めて「作文」を書いてみよう!
▶作文はこうして書く ▶課題例と作文例

4 自己表現活動編 33

☆自己表現活動とは ▶グループ型—討論 ▶個人型—資料をもとにした記述・スピーチ

■受験生へのアンケート調査をもとにした

神奈川県公立高校 126校 の面接内容とアドバイスほか 36

■国立・私立高校 推薦入試・一般入試の面接 にのぞむ 139

■受験生へのアンケート調査をもとにした 神奈川県・東京都・静岡県の

国立・私立高校 67校 の面接内容とアドバイスほか 140

◆◆さくいん 191

1 自己PR書編

こうすればできる！自己PR書

●チェック欄□を使って進みぐあいを確認しよう

1 自己PR書の意味とポイントを知る。

□P4～P5を読んでおく。

2 原稿の作成

□P7～P8の手順にしたがって、P4、5の作成方法やP9～P10の例を参考にしながら、下書きを作成する。

3 下書きの作成

□P6の見本(またはコピー)に下書きをまとめる。

4 他の人に下書きしたものをチェックしてもらう。

□自分で書いた文章の間違ひには気づきにくいものです。書き終わった後は必ず、誤字脱字やわかりづらい表現がないかどうか、自分以外の人(担任の先生や、学校の国語の先生、塾の先生、保護者、友達など)にチェックしてもらいましょう。

5 清書する

□高校に提出する用紙に、チェック・修正したものを正しくていねいに記入する。

★これで「自己PR書」のできあがりだ！

(1) 自己PR書とは

自己PRのPRとはPublic Relations、つまり広報活動という意味です。志望理由とか自己PRとか言われても何をどう書いていいかわからなく不安になる人もいるかもしれません。

しかし、決して難しく考えることはありません。自己PRとは自分を見つめなおし、志望校をよく知り、自分が志望校にとってふさわしい人間であることを積極的にアピールすることです。

(2) 自己PR書のポイント

◆自己PR書は面接のための資料！

「自己PR書」は、それ自体がアピールのための道

具ですが、一方で、面接とセットになっていることも忘れてはいけません。「自己PR書」は高校が受検生のことをより詳しく知るための面接の資料です。しかし、単なる資料ではありません。読んでくれる高校の先生が「質問してみたいな」と思ってくれるような自己PR書になるように工夫をしましょう！

そこで、気をつけたいのは、自己PR書にすべてを書いてしまわないということ。自己PR書が書けたからといって、もう終わった気になってしまうのは危険です。いざ面接になったとき、自己PR書と同じことしか言えないのでは、面接をする意味がありません。つまり、自己PR書に書いた内容には、しっかりとし



た背景(もっと話したいこと)がなければダメです。

また、格好をつけたり、ウソをついたりして書くことも、絶対にしてはいけません。面接で突っ込んだ質問をされると、すぐにボロが出てしまいますよ！

(3)自己PR書を書くうえでの注意点

さあ、それでは早速書いてみよう！——なんて、いきなり実行に移そうと思っても、一体何から書いていいのか、どうやって文章にしたらいいのか、なかなか難しいですね。まず、自己PR書を書くうえでの注意点を押さえよう！

書類の書き方の基本

1. 字は丁寧に

うまい・下手ではなく、大事なのは「丁寧に」です。雑な字では「本当に入りたいのか?」と思われるてしまいます。また、小さな字でごちゃごちゃ書かないように注意しましょう。

2. なるべく漢字を使い、誤字脱字に注意する

ひらがなばかりの文章は、読みにくいばかりでなく、書いた人が幼いような印象を与えます。何でもかんでも漢字にする必要はありませんが、中学までに習う漢字はできるだけ使うようにしましょう。

また、漢字を間違えたり、字が抜けてしまうことによって、意味が違ってしまふこともあります。間違いだらけの文章では、PR書全体を信頼されません。簡単な漢字であっても、あやふやな記憶なら辞書を引くようにしたいものです。

3. 敬語の使い方に注意

丁寧に書こうと思って、「先生がお話をお聞きになられた」「いらっしゃられる」など、敬語を重複して使わないように注意しましょう。

4. 全体のバランスを考えて書く

文章を上の方につめて下を空けるのではなく、全体を考え、欄がしっかり埋まるように内容や字の大きさに注意して書きましょう。何度も下書きをして読みやすいバランスを考えよう。

5. 文章は簡単にわかりやすく

ひとつの文章が長いと、言いたいことが弱まることがあります。「主語が何で、結論は何なのか」を意識して、論点がぶれないように気をつけましょう。

読んでみて、句点におきかえられるところは、そこで区切ってしまいましょう。読み手のいる文章では、なるべく短く区切ることが大切です。

中身の作成手順

1. 書く内容を箇条書きに

はじめから文章で書くのは大変です。書こうとしている内容について1行で何本か気楽に書いてみましょう。

2. 優先順位をつけ、書く内容を絞る

箇条書きにした中でメインになるもの、サブになるものに分ける。多くても3つに絞りましょう。

3. 具体的に書いてみよう

箇条書きで簡単に書いたものを、より具体的に書いてみる。

4. 文章の量を調節してみよう

実際に書いてみて、文章が多過ぎて書ききれなければ削り、少なければ増やすようにします。



公立高校前期選抜の自己PR書《白紙見本》

※ 受 検 番 号

自 己 P R 書

志願先	学校・課程	立	高等学校（全日制・定時制・通信制）
	学 科 等	科（	コース・専攻・系・部）

志願者氏名		中学校名	
-------	--	------	--

この自己PR書は、面接の際の参考資料で、内容を評価するものではありません。
 中学校や校外での活動実績ではなく、自分自身のよいところや、この学校に入学
 したい理由などについて記入してください。

1 自分のよいところ

（自分の特徴や長所）

SAMPLE

2 入学を希望する理由

（この学校に入学したい理由・入学してから取り組みたいことなど）

Blank writing area for reasons for wanting to enter the school.

- 【記入上の注意】
- ※の欄は記入しないこと。
 - 志願先の課程欄は、志願先の課程を○で囲む。
 - 枠内に自筆で記入すること。鉛筆書きも可。写真等は貼り付けないこと。

実際に原稿を作成しよう②

入学を希望する理由

この学校に入学したい理由・この学校に入学してからやりたいと思うことを書こう。

ステップ ① 志望理由を箇条書きで書いてみよう。

▷志望理由は1つだけではないはず。まずいくつかあげてみよう。

キミの書く欄

志望理由 1 _____

志望理由 2 _____

志望理由 3 _____

志望理由 4 _____

ステップ ② メインに書くことを選ぼう。

▷下の欄にメインを1にして順位をつけよう。いくつか書いた志望理由のなかで決め手になるものを1つ決めます。

ステップ ③ まとめてみよう。

■まとめかた _____

① ステップ2で選んだメインテーマを最初に書く。

最初に強調したいことをズバリと書くことで伝えたいことが明確になります。

② メインテーマの具体的なエピソードを書く。

例えば高校で頑張りたいことが部活なら、その名前をあげて具体的にどんな風に頑張りたいかを書きます。実際に説明会や学校行事などを見て感じたことをネタにすれば、より説得力が増します。数ある高校のなかからその高校を選んだ理由を書くわけですから、自分の将来の夢や高校でやりたいことが、その高校の特色と結びついていることが大切です。入学を希望する高校なのに、その高校の特色について詳しくなければ変です。また、その高校を志望校としたきっかけとなる出来事(出会い)や動機が必ずあるはず。これらも書けるようならば書いてみましょう。

③ 2番目の志望理由やその他の内容にふれる。

④ 最後を締めくくる一文を考える。

これからの高校生活を迎えるにあたって、自分が前向きに頑張りたい内容を書くといいでしょう。

さあ書いてみよう!! 入学を希望する理由

